



2016.2.1
No.188

市議会だより

12月
定例会



写真（小曲観光いちご狩り：平成 28 年 1 月 5 日撮影）

市長提案35案件を承認・可決・
同意、諮問のとおり決定

CONTENTS

●12月定例会の概要／議会日誌	②
●市政に関する質問	③～⑧
●各常任委員会審査の概要	⑨・⑩

●請願審査結果	⑩
●審議結果	⑪
●各常任委員会行政視察の状況	⑫

12月 定例会の概要

甲府市議会は、12月定例会を12月2日から15日までの14日間の日程で行いました。

第六次甲府市総合計画の基本構想について、平成27年度甲府市一般会計補正予算（第6号）など、市長から提案された35案件を審議し、すべて、承認・可決・同意、諮問のとおり決定いたしました。

第六次甲府市総合計画の基本構想については、総合的で計画的な市政の運営を図るため、甲府市総合計画審議会の答申に基づき、市政運営の指針として策定するものです。

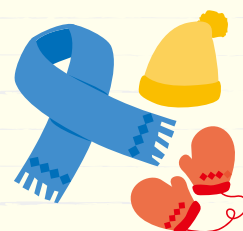
この基本構想は、計画期間を平成28年度から平成37年度までの10年間としており、目指すべきまちの姿となる「都市像」については、「人・まち・自然が共生する未来創造都市 甲府」とし、都市像を実現するための基本目標及び基本目標を達成するための施策の大綱を定めております。

主な条例は、甲府市重度心身障害者医療費助成金支給条例等の一部を改正する条例制定についてで、重度心身障がい児に係る医療費助成金の支給方法を窓口無料方式に変更するためのものです。

主な補正予算につきましては、平成27年度甲府市一般会計補正予算（第7号）で、自立支援サービス事業費等に係る社会福祉費及び教育・保育施設等運営給付金等に係る児童福祉費等を追加したことによる補正となっています。

議会日誌

10月 7日 (水)	環境水道委員会行政視察	12月 2日 (水)	12月定例会開会、提案理由の説明、会派代表者会議
10月 8日 (木)	山梨県市議会議長会会議		
10月 9日 (金)		12月 7日 (月)	
10月14日 (水)	行政視察（総務委員会・	12月 8日 (火)	本会議、質疑及び市政一般質問
～16日 (金)	経済建設委員会)	12月 9日 (水)	議会運営委員会、提案理由の説明、各常任委員会付託、会派代表者会議
10月26日 (月)	民生文教委員会行政視察		
～28日 (水)		12月10日 (木)	常任委員会（総務）
11月 2日 (月)	甲府市・ポー市姉妹都市親善訪問	12月11日 (金)	常任委員会（総務・民生文教）
11月10日 (火)	環境水道委員会（所管事項調査）	12月14日 (月)	常任委員会（経済建設・環境水道）
11月10日 (火)	全国市議会議長会評議員会	12月15日 (火)	議会運営委員会、本会議、各常任委員長報告、討論、採決、12月定例会閉会、会派代表者会議
11月11日 (水)	会派代表者会議		
11月12日 (木)	都道府県庁所在都市議長会会議	1月 7日 (木)	市議会だより編集委員会
11月13日 (金)			
11月17日 (火)	議員互助会研修会		
11月18日 (水)	経済建設委員会（所管事項調査）、民生文教委員会（所管事項調査）、環境水道委員会（所管事項調査）		
11月25日 (水)	12月定例会招集告示		
11月27日 (金)	議会運営委員会、会派代表者会議		



公 明 党
代表質問（一問一答）

長 沢 達 也

重度心身障がい児医療費 の窓口無料復活について

質問 Q 窓口無料の復活について大いに評価いたします。課題となつて国のパナルティの見込み額及び県補助金の減額見込み額とその対応について伺います。また、今後の具体的な流れもお示しください。

答 弁 A 今回の重度心身障がい児の医療費助成方法を窓口無料方式へ変更することに伴う本市の負担額は、平成25年度ベースで、国民健康保険に対するペナルティ額が約200万円、歳入として見込めない県補助金額が約1100万円となつており、この県補助金については、従来どおり交付されるよう山梨県に要望しているところです。また、今後は平成28年4月からの支給方法の変更に向け、1月から受給者証交付に伴う通知文の送付等、3月には受給者証の交付事務等に取り組んでまいります。

防災リーダーについて

質問 Q 本市は、平成27年4月に防災リーダーの登録要綱を改正し、有効期限を永年としました。それに伴って防災リーダーの知識・技能の維持・向上について、どのように取り組んでいかれますか。また、自主防災組織との関わり方について、どのように考えサポートしていけるのか伺います。

答 弁 A 本市では、防災リーダー登録者の知識と技能の維持・向上について、フォローアップを兼ねた講習会の実施や、災害関連法等の改正時における資料の送付などを現在検討しております。また、自主防災組織等との関わり方については、平常時から連携した防災対策を実施していくことが極めて重要であることから、防災リーダー指導育成研修会を開催するなど、更なるリーダーの育成と登録者のサポートに努めてまいります。

その他の質問項目

- ・胃がん検診及び肺がん検診について
- ・高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種について

日本共産党
代表質問（一括）

清 水 英 知

重度心身障がい児の医療費 窓口無料の復活について

質問 Q 実施時期については、すこやか子育て医療費助成制度の対象年齢が中学校3年生まで拡大される平成28年1月からとすべきであり、また、制度改正に伴う諸手続きの負担軽減を図るべきと考えますが、当局の見解を求めます。

答 弁 A 重度心身障がい児の医療費助成方法を、自動還付方式から窓口無料方式へ変更する実施時期については、重度心身障がい児の受給者証申請受付から交付までの期間、及び医療費助成システムの改修に約3か月を要することから、開始時期を平成28年4月といたします。

今後においては、窓口無料方式への変更に伴う諸手続きの負担軽減を図りつつ、確実な実施に向け、各業務に取り組んでまいります。

総合的な子育て支援策の 推進について

質問 Q 全国最高水準の高校3年生までの医療費無料化を初めとする負担軽減や、家賃・住宅取得費への助成等、子育て支援の先進都市と標榜できるように、総合的な子育て支援策を推進すべきと考えますが、当局の見解を求めます。

答 弁 A 本市においては、「すこやか子育て医療費の助成対象年齢を中学校3年生まで拡大するなど、安心して子どもを産み、健やかに育てられるまちを創ってまいります。

高校3年生までの医療費の無料化については、すこやか子育て医療費助成制度の中学校3年生までの拡大の効果を十分に検証する中で、引き続き様々な観点から研究してまいります。また、家賃・住宅取得費への助成についても、人口対策として総合的に研究してまいります。

その他の質問項目

- ・第六次甲府市総合計画の基本構想について
- ・通所サービス利用者食費負担額助成事業について 他



政友クラブ
代表質問（一括）

荻原 隆宏

甲府市人口ビジョン・総合戦略について

質問 国の総合戦略に基づいて2060年までの甲府市人口ビジョンを作成し、甲府版総合戦略を策定しなければならないが、45年後の市民生活をどのように展望するのか。リニア開業の33年後に当たり都市構造も大きく変化しているが、市長の描く都市像は。

また、移住・定住の促進にあたり、甲府のどのような魅力を発信し、どのような世代をターゲットとして考えるか。

答弁 圏域全体を見据え、人口減少と地域経済の縮小を克服し、その先にある「笑顔あふれるまち」が、誰もが住みたくなる魅力的なまちであり、幸せを享受できる理想的な甲府市の姿であると考えます。総合戦略では、人口の「社会減少」、とりわけ「東京方面への転出超過」と20歳代前半からの後半にかけての顕著な転出超過の解消に努めます。産官学金労

言の参画を得て設置した「甲府市地域創生戦略会議」の提案など、新たな発想のもと地域特性や様々な資源を最大限活かした地方版総合戦略を策定していきます。

インバウンドを中心とした観光施策について

質問 市長は11月17日からインドネシアを訪れて観光プロモーションをしてきたが、その成果をふまえた国際交流やインバウンド観光の施策は。特にインバウンドの場合、出身国や滞在期間によって消費額に大きな差が出るので、「稼ぐ観光・稼ぐインバウンド」という視点が必要になるが見解は。

答弁 インドネシアにおいて本市初の観光トップセールスを行い、長田周子様初め大勢の方と意見交換し、1万冊のインドネシア語版観光パンフレットの配布依頼等を行いました。今回得た人脈や現地の生の声を今後の海外展開に活かし、観光で「稼ぐ甲府市」という観点を常に念頭に置き施策を推進してまいります。

その他の質問項目

・児童館の計画的な整備について
・甲府商科専門学校について 他



創政こうふ
代表質問（一括）

山中 和男

公共施設マネジメントについて

質問 本市の公共施設の管理に係る費用の推移とその内訳も含めて伺います。また、今後法定耐用年数を超える公共施設数について、そのライフサイクルコストの見える化と併せて伺います。そして、今後PPP等の民間活力の導入をどのように検討していくのかお伺いします。

答弁 まず、公共施設の維持管理費について、平成26年度決算統計で、人件費を除いた施設管理に係る費用の合計は、約22億1000万円余となっており、平成23年度と比較すると、新庁舎の供用開始等に伴い、約1億円増加しております。

次に、法定耐用年数を超える施設数については、平成27・28年度の2年間の固定資産台帳の整備が完了すると明確となってまいります。また、公共施設のライフサイクルコストの見える化について

は、施設カルテの取りまとめを行ったところであり、本年度中に公表してまいります。

なお、今後も民間活用による効果が期待できる公共施設については、PPP（公民連携）等の導入を検討してまいります。

日本版ネウボラについて

質問 本市でも日本版ネウボラのような母子保健コーデイネーターを設置し、家庭環境全般においてケアできる体制を構築していくことが期待されますが、ご所見を伺います。

答弁 本市においては、保健師が各種検診を初め、養育支援などを展開しているほか、「子育て総合相談窓口」を開設し、多種多様な相談への対応なども行い、「こども最優先のまち」の実現に向け各種取組を推進しております。

今後においても、新たに創設される予定の「子ども未来部」を中心に、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を検討してまいります。

その他の質問項目

・人生を思いきり楽しめるまちについて
・くらし潤うまちについて 他



公明党
一般質問（一問一答）
佐野 弘仁

甲府と宝石のブランド力 向上について

質問Q 「甲府之証」認定後の現在の広報及び周知活動はどのように行われているか、今後の展開についてお聞かせください。あわせて、観光客の目を引く新たなマップの作成についてお聞かせください。また、空き店舗活用でのショッパや工房の開店を促進する取組などについて、当局のご所見をお示しください。

回答A 現在までに、ホームページでの周知や国内観光プロモーション等における販売支援やPRを行ってまいりました。

平成27年11月には、山梨県立宝石美術専門学校等の周辺を「ジュエリー・クラフト関係集積エリア」と位置付けたことから、同エリアの空き店舗に入居した場合の補助を厚くする等により、出店を促していきたく考えております。

また、年明けには、都内で開催される展示会において、「甲府之証」に認定したジュエリーのPR

を行う予定であります。

今後においては、「購買意欲を高める」という視点に立ったマップ等も作成していきたいと考えております。

スクールソーシャルワーカーの設置について

質問Q 子どもの貧困に関する実態把握や関連機関との迅速な連携を図るためにも、しっかりと高い能力のある甲府市雇用のスクールソーシャルワーカーの設置が必要だと考えますが、当局のご所見を伺います。

回答A スクールソーシャルワーカーについては、現在、山梨県が教育事務所等に13名の嘱託職員を配置し、管内の小中学校・高等学校からの要請に基づいた派遣を行っています。県内市町村での配置が少ないのは、補助対象事業者が、都道府県及び指定都市・中核市に限定されていることが要因と推測されるため、今後は、中核市への移行を見据え、国の動向も注視する中で、本市独自の雇用についても検討してまいります。

その他の質問項目

- ・子どもの権利条例について
- ・障がいのある子どもへの通所支援について 他



日本共産党
一般質問（一括）
木内 直子

高齢者へのタクシー券の 配付について

質問Q 高齢者が外出する機会が少なくなっている状況を少しでも改善し、いつまでも健やかに生き生きと暮らすことができれば、高齢者へタクシー券の配付事業を実施していくことを提案しますが、考えをお伺いします。

回答A 本市においては、車椅子が困難な在宅の高齢者に対し、外出支援サービス事業として、タクシー利用券を月に2枚発行し、基本料金を助成しております。

また、重度心身障がい者で身体障害者手帳が1級または2級、療育手帳はA、精神障害者保健福祉手帳は1級の方に対し、タクシー利用券を交付しているうち、75歳以上の高齢者が約半数を占めています。そのほか、自主的に自動車運転免許証を返納された高齢者に対し、移動支援として、ICカード式バス乗車券を交付しているところでもあります。

このように、高齢者の生活を支援する様々な事業により高齢者福祉の推進を図っており、これらのサービスを継続的に提供していくことが、重要であると考えております。

がん検診受診率の向上について

質問Q 乳がん・子宮頸がん等の早期発見にがん検診が有効ですが、受診率が当面の目標50%に届いていません。受診率を上げるため、基本健診と各種がん検診との連携や、周囲からの働きかけを重層的に行うこと等を検討してみたいかがでしょうか。本市の考えをお伺いします。

回答A 本市においては、がん検診の受診率向上のため、本年度新たな取組として、国の補助事業である「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」など、特に女性のがん検診の推進を図るとともに、子育て世代を対象に、がん検診啓発用チラシの配布等を実施いたしました。今後も、先進事例の取組や、職域など他団体との連携も調査・研究し、事業の推進に努めてまいります。

その他の質問項目

- ・保育制度等について



政友クラブ
一般質問（一問一答）

原田 洋二

遊亀公園及び附属動物園の整備計画について

質問

整備計画の検討には様々な視点が必要と考えますが、策定委員会設置の主旨と委員選任の考え方、及び市民の声をどのように計画に反映させ、周知していくのかお伺いします。また、隣接している道路の拡幅等についてもお示しください。

答弁

本市では、平成27年6月に遊亀公園・附属動物園整備計画策定委員会を設置し、現状の課題や問題点を把握する中で、規模や配置方針、コンセプトやゾーニングなどの基本的方針についてご議論いただき、整備計画（案）として、ご提言いただくこととしています。また、委員の選任については、利用者、建設及び運営、それぞれの立場や幅広い年齢層からご意見をいただけるよう構成しています。また、これまで広く市民の皆様の声を計画に反映させていくため、できる限り多くの資料

を提供する中で、協議を進めていただきました。今後についても、整備計画は、市民の皆様と共に創っていくものと考えており、引き続き広く市民の皆様への情報発信に努めてまいります。

なお、来年度の基本設計の中で道路拡幅や圧迫感のない周壁など、整備を検討してまいります。

活用困難な空き家対策について

質問

活用困難な空き家の取り壊しや撤去等を視野に入れた政策が必要と思われるが、見解をお示しください。

答弁

活用困難な空き家対策については、所有者等による適正管理を原則としながらも、撤去を初め、私有財産である空き家等の処分に行政がどこまで関与するかといった課題もありますことから、庁内に設置した空家等総合対策検討委員会において、他都市の取組を参考に本市における事情を的確に分析・考察する中で対応を検討してまいります。

その他の質問項目

- ・福祉センターの利用時間の延長について
- ・斎場使用料の改定について 他



政友クラブ
一般質問（一問一答）

末木 咲子

「生涯活躍のまち構想（日本版CCRC構想）」について

質問

本市の人口減少対策の一環として、日本版CCRC構想を推進する考えはあるかお示しください。また、県内大学が中心となり展開している「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」の取組に対して、本市が連携・協働する考えがあるかお尋ねします。

答弁

「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」においては、「地方への新しいひとの流れをつくる」という目標を達成するための施策として日本版CCRC構想の推進が位置付けられております。この構想については、今後の国の動向等を注視するとともに、先進的な取組を参考としながら継続的に研究をしてまいりたいと考えております。

なお、県内大学が中心となり展開している「オール山梨11+1大学と地域の協働による未来創生の推進事業」との連携については、

「生涯活躍のまち構想（日本版CCRC構想）」の制度化などの状況を見極める中で、検討してまいります。

幼児教育センターの増設について

質問

幼児を連れた移動等を考えると、地域ごとに幼児教育センターの設置が必要だと考えますが、増設について見解をお伺いします。

答弁

現在、本市においては、市内2か所の幼児教育センターと、中道つどいの広場において、乳幼児とその保護者が自由に遊び交流する場の提供や育児相談等を行っているほか、市内16か所の保育所・認定子ども園等が開設する地域子育て支援センターにおいても、子育て家庭の負担緩和を図っております。今後も、幼児教育センターと地域子育て支援センターが同様の機能を保有していることから、市内の19か所で開設している地域子育て支援拠点事業の充実を図りながら、地域に根ざした子育て支援に取り組んでまいります。

その他の質問項目

- ・外国人住民の社会保障について
- ・外国人住民の防災対策について 他



政友クラブ
一般質問（一問一答）

鮫田 光一

空き家等の利活用策について

質問 Q 甲府市内南北の山間地域と中心市街地に特定した空き家対策の対象地域を、今後全市に拡大することが必要と考えますが、考えをお伺いします。

回答 A 本市における空き家対策については、現在、市内に設置した空家等総合対策検討委員会において、組織横断的かつ多角的な視点から、その活用策の検討を進めているところであります。とりわけ、「空き家バンク」については、空き家の有効活用と定住人口の増加につながる仕組みとして効果があるものと考えております。

こうしたことから、エリア拡大については、利用者の多様なニーズに応える上で大変有効であると認識しており、今後、空家等総合対策検討委員会において、空き家等の積極的な利活用を図る観点から、検討してまいります。

学校給食について

質問 Q 学校給食費の未納について、学校だけではこの問題への対応は非常に厳しく、教育委員会としても何らかの方法を考えるべきと思いますが、当局の見解をお伺いします。また、アレルギー除去食の対応をすべきと考えますが、併せて考えをお伺いします。

回答 A 給食費未納の問題は、教育委員会としても看過できない重要な問題であると認識しております。学校給食の意義等については、学校や学校給食会等と連携する中で、なお一層の周知に努めるとともに、他都市の動向等を注視する中で有効な対策等の調査・研究を行ってまいります。

次に、アレルギー対応については、現在、一部の食材をアレルギー対応のものにする等の対応を行っていますが、除去食を提供することは、人員、施設面及び安全性の面から課題が多く、現状では困難な状況であります。

今後においては、アレルギー対応給食について、引き続き調査・研究を行ってまいります。

その他の質問項目

- ・ リニア新駅周辺地域の整備について
- ・ 農業支援について 他



創政こうふ
一般質問（一問一答）

望月 大輔

中小企業・小規模企業振興条例（仮称）の制定について

質問 Q 制定に向けての準備が早急に必要と考えますが、現在、どのような検討や準備が行われているのか、制定に向けたスケジュールをお示しください。

回答 A 条例制定に向けては、まず、本市の産業振興を図るため、平成27年11月に産学官金で構成し設置した甲府市産業振興検討委員会において、中小企業等の実情把握をするためのアンケート調査の内容について、意見交換を行いました。

また、企業ヒアリングを実施するとともに、地域経済分析システム「リーサス」を活用する中で、本市の産業構造等についての分析に着手しました。

今後においては、これらの分析結果を参考に、中小企業等の振興のための施策や関係機関の果たすべき役割と連携等、条例内容について検討を重ね、年度末を目途に骨子を策定し、平成28年度中に条例制定が行えるよう作業を進めてまいります。

移住・定住施策について

質問 Q 移住・定住コンシェルジュの現在の活動状況と、今後の具体的な目標やそれを達成するための施策をお示しください。

回答 A 本市においては、平成27年8月、移住・定住を希望される方が抱く様々な不安や課題などに身近な存在として、気軽に相談できるような市役所内に移住・定住コンシェルジュを配置しました。

現在、コンシェルジュは、首都圏等から本市に移住・定住を希望されている方を対象に開催するセミナー等や、テレビ、ブログなどを活用し、移住・定住に必要な情報の発信を行っております。

今後においても、東京有楽町の「やまなし暮らし支援センター」の移住・定住相談員や県内他市に配置しているコンシェルジュとも連携する中で移住・定住の促進に努めてまいります。

その他の質問項目

- ・ 遊亀公園附属動物園の100周年に向けての整備計画について
- ・ 地場産業であるジュエリー産業の「宝石の街・甲府」の活性化について 他



創政こうふ
一般質問（一問一答）

向山 憲稔

リニア新駅周辺地域の道路整備について

質問

リニア新駅までのアクセス道路について、及び新駅建設による工事車両の増加に伴う渋滞対策や子どもたちへの交通安全対策について伺います。また、荒川に架かる新しい橋の建設について見解を求めます。

答弁

リニア新駅周辺地域の道路整備については、「（仮称）甲府市リニア活用基本構想」を現在策定中でありますので、今後、土地利用や整備方針を検討する中で、リニア新駅へのアクセスについても検討してまいります。また、リニア中央新幹線の工事車両の往来に伴う渋滞対策や子どもたちへの安全対策については、通行時間帯の制限などをＪＲ東海に対し申し入れを行い、履行を強く求めてまいります。また、リニア新駅から国道３５８号を結ぶ新たな道路については、地元要望もありますことから、県市の協議

を継続する中で整備の検討をお願いするとともに、本市としても検討してまいります。

山梨クイーンビーズへの支援について

質問

山梨クイーンビーズに対する応援態勢を整えていく必要があると考えますが、本市職員として選手を採用するなどサポートの方法について見解を伺います。

答弁

山梨クイーンビーズへの支援については、現在、来季のＷリーグ公式試合を市内の会場で開催するための準備を進めているところであり、甲府スポーツビューロのネットワークを活用する中で、引き続きチームの活動支援に努めます。甲府市総合市民会館のバスケットゴールの増設については、市民の利用状況等を勘案する中で検討してまいります。なお、職員の採用については、法令等により能力の実証に基づき、適正に行つてまいります。

その他の質問項目

- ・全国学力テスト、並びに目標値の設定について
- ・手話言語条例について 他



社会民主党
一般質問（一括）

山田 厚

就学援助制度等の充実について

質問

就学援助制度の対象となる家庭に対し、申請を待つ仕組みとならないよう検討すべきと考えます。また、制度の案内はより分かりやすくし、就学援助費の支払いについては、直接学校に振り込み、学校給食費等の未納や支払いの遅れを事前に防止する手立てを始めるべきと考えますが、当局の見解を伺います。

答弁

制度については、本市ホームページなどに掲載するとともに、案内及び申請書を送付するとともに、案内及び申請書を4月に全児童・生徒に配付して周知を図ってきました。また、新入学児童・生徒には、それぞれ10月及び11月の入学通知書の発送時に案内を同封しています。

なお、就学援助費の支給については、対象保護者が給食費等を未納の場合、ご本人から承諾をもらい、児童・生徒が在籍している学校長に直接支払う方法をとってお

り、今後も学校と連携を図る中で周知に努め、制度を知らない保護者が生じないよう、また、未納が発生しないよう、対策を講じてまいります。

子どもの貧困についての現状の認識と支援について

質問

子どもの貧困が急激に進む中、平成25年に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されました。子ども最優先の市政として、子どもの貧困に対する現状認識及び支援策について、市長の基本的姿勢をお示しください。

答弁

本市では、これまでとり親世帯等への各種支援に取り組んできたところであり、新年度に発足させる予定の「子ども未来部」においても、山梨県が策定する計画を十分に踏まえる中で、子どもの貧困対策を推進するとともに、相談体制を充実させるなど、子ども・子育てに関する各種施策を推進し、全ての子どもたちが心身ともに健やかに成長できる環境をつくってまいります。

その他の質問項目

- ・入学準備金融資制度の改善について
- ・保育料の負担軽減について 他

各常任委員会審査の概要

常任委員長
報告要旨

予算や条例など付託案件の審査で出された主な経過等の概要です。

総務委員会

◆議案第96号 第六次甲府市総合計画の基本構想について

基本構想の推進のひとつである持続可能な行財政運営についてただしたのに対し、これまでも施策の効果がでており、市民サービスの向上を図れるものについては今後も進めていきたいとの答弁がありました。

次に、都市像と目標人口との関係性についてただしたのに対し、基本構想においては、目標人口への取組を推進するとともに、基本目標を定めて、まちづくりを推進していくことにより、将来に希望が持てる都市像を目指しているとの答弁がありました。

これに対し、目標人口の数値達成だけが基本構想の目標にならないよう、基本構想を市民と共有し、市民生活における満足度を高めていくことが求められるとの意見がありました。

次に、中核市移行についてただしたのに対し、移行に際しては、広域行政事務組合構成市町との連携をはじめ、民間や市民との協力により、甲府市全体の潜在力を高め、連携中枢都市圏構想等の市域を越えた周辺自治体との連携を図っていきたいとの答弁がありました。

これに対し、甲府盆地全体で連携中枢都市圏が形成できるよう他市町との連携を強化していくことが重要であるとの意見がありました。

次に、現在の総合計画と新たな総合計画の違いについてただしたのに対し、現在の総合計画の基本目標は、福祉部門、教育部門等の行政部門別の構成としていたが、新たな総合計画では人、活力、暮らし、環境という市民にわかりやすい視点から区分するとともに、各基本目標に施策の柱等を定め、それらが連携できるような構成となっているとの答弁がありました。

次に、財政状況を安定化させる手法についてただしたのに対し、本市を含め、全国的に扶助費等の社会保障関係費は、増加傾向で推移していくと考えられるが、基本構想の施策を展開することにより歳入を確保する策を推進していくとの答弁がありました。

これに対し、施策の柱にもある産業を振興することにより、生産年齢人口が維持され、まちの活性化及び雇用創出による税収確保に繋がるとの意見がありました。

以上が、主な質疑の内容であります。施策の大綱37施策については着実な推進を希望するものの、今後10年間の財政状況において、リニア関連事業を優先的に取り組むことに対しての疑問や、本市業務の民間委託推進に問題があるため反対であるとの意見と、まちをつくるという当事者意識を持った担い手を増やしていくことが重要であり、魅力ある都市像の実現に向けて、人に着目した視点に立って構成されている基本構想と認められるため賛成であるとの意見があり、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第104号 甲府市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例制定について

多くの問題があるマイナンバー制度の実施を可能とする条例制定であるため反対であるとの意見がありました。採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第97号 専決処分について（平成27年度甲府市一般会計補正予算（第5号））

全員異議なく当局原案のとおり承認するものと決しました。

◆議案第98号 平成27年度甲府市一般会計補正予算（第6号） 外8案

9案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第118号 公平委員会委員の選任について

全員異議なく当局原案のとおり同意するものと決しました。

◆諮問第1号～諮問第12号 人権擁護委員候補者の推薦について

12案については、いずれも全員異議なく当局諮問のとおり決定するものと決しました。



審査の内容は、本会議で委員長から報告され、本会議の議決（意思決定）の参考となります。

民生文教委員会

◆議案第109号 甲府市重度心身障害者医療費助成金支給条例等の一部を改正する条例制定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、助成方法を窓口無料方式へ変更するについては、十分な周知を行うとともに、今後も障がい者への福祉施策の充実を図るよう求める意見がありました。

また、受給者証申請時の負担軽減を図るとともに、来年4月からの窓口無料方式への変更に向けて、円滑に移行できるよう求める意見がありました。

◆議案第100号 平成27年度甲府市一般会計補正予算（第7号）中当委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、不妊治療への助成については、更なる充実を求める意見がありました。

◆議案第99号 平成27年度甲府市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

◆議案第101号 平成27年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

◆議案第102号 平成27年度甲府市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）

◆議案第110号 甲府市国民健康保険直営診療所条例の一部を改正する条例制定について

◆議案第111号 甲府市公民館設置及び管理条例及び甲府市公民館使用料条例の一部を改正する条例制定について

5案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。



環境水道委員会

◆議案第103号 平成27年度甲府市浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）

◆議案第100号 平成27年度甲府市一般会計補正予算（第7号）中当委員会所管分

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。



経済建設委員会

◆議案第116号 指定管理者の指定について（甲府市勤労者福祉センター）

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、利用者の一層の増加を図るとともに、施設の安全対策の強化を求める意見がありました。

◆議案第112号 甲府市地方卸売市場業務条例の一部を改正する条例制定について

◆議案第113号 甲府市市営住宅条例の一部を改正する条例制定について

◆議案第100号 平成27年度甲府市一般会計補正予算（第7号）中当委員会所管分

3案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。



平成27年12月定例会請願審査結果

	番 号	件 名	付託委員会	結 果
請願	第27-2号	戦争につながる安全保障関連2法案（国際平和支援法案、平和安全法制整備法案）の廃案を求める意見書採択についての請願	総務	取り下げ（承認）
	第27-6号	沖縄県民の声に共感し地方自治の堅持を国会と政府に求める意見書提出を求める請願	総務	継続審査

平成27年12月定例会 審議結果

	件名等	議決月日	結 果	政 友 クラブ	創 政 こうふ	公明党	日 本 共産党	社 会 民主党	無所属
議案第 96 号	第六次甲府市総合計画の基本構想について	12月15日	可 決	○	○	○	×	×	○
議案第 97 号	専決処分について（平成27年度甲府市一般会計補正予算（第5号））	〃	承 認	○	○	○	○	○	○
議案第 98 号	平成27年度甲府市一般会計補正予算（第6号）	〃	可 決	○	○	○	○	○	○
議案第 99 号	平成27年度甲府市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第100号	平成27年度甲府市一般会計補正予算（第7号）	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第101号	平成27年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第102号	平成27年度甲府市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第103号	平成27年度甲府市浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第104号	甲府市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例制定について	〃	〃	○	○	○	×	×	○
議案第105号	甲府市事務分掌条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第106号	甲府市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第107号	甲府市市税条例等の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第108号	甲府市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第109号	甲府市重度心身障害者医療費助成金支給条例等の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第110号	甲府市国民健康保険直営診療所条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第111号	甲府市公民館設置及び管理条例及び甲府市公民館使用料条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第112号	甲府市地方卸売市場業務条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第113号	甲府市市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第114号	指定管理者の指定について（甲府市甲府駅南口第1自転車駐車場外1施設）	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第115号	指定管理者の指定について（朝日悠遊館外1施設）	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第116号	指定管理者の指定について（甲府市勤労者福祉センター）	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第117号	平成27年度甲府市一般会計補正予算（第8号）	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第118号	公平委員会委員の選任について	〃	同 意	○	○	○	○	○	○
諮問第1号 ～第12号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃	諮問の とおり 決 定	○	○	○	○	○	○
甲議第 11 号	甲府市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	〃	可 決	○	○	○	○	○	○

○賛成・×反対

政友クラブ ◎荻原隆宏 池谷陸雄 原田洋二 大塚義久
廣瀬集一 鈴木 篤 岡 政吉 坂本信康
長沼達彦 小澤 浩 末木咲子 深沢健吾
藤原伸一郎 鮫田光一
創政こうふ ◎桜井正富 金丸三郎 清水 仁 山中和男
天野 一 小沢宏至 望月大輔 向山憲稔

公 明 党 ◎中村明彦 兵道顕司 植田年美 佐野弘仁
長沢達也
日本共産党 ◎内藤司朗 清水英知 木内直子
社会民主党 山田 厚
無 所 属 神山玄太

◎は会派代表者

◎人事案件については、同意、諮問のとおり決定されました。

◆公平委員会委員の選任について

又川 理恵

◆人権擁護委員候補者の推薦について

中澤 豊 齋藤 勝久 斉藤萬里子 河口喜久雄
友松 本子 望月 忠夫 矢崎 淳 土橋 利男
古屋 礼子 倉鹿野 登 保坂 公雄 小林 隆子 （敬称略）



各常任委員会行政視察の状況

議会が閉会中でも、議案審査の参考にするため調査活動を行っています。

総務委員会

実施日：平成27年10月14日～16日

○視察場所・視察項目

- 〈富山県高岡市〉・人口減少化と地域創生に向けた取組について
・土蔵造りのまち並みについて
- 〈石川県金沢市〉・防災対策と大桑防災拠点広場について
- 〈新潟県上越市〉・空き家等の適正管理及び活用促進に関する
条例と空き家対策について



民生文教委員会

実施日：平成27年10月26日～28日

○視察場所・視察項目

- 〈東京都三鷹市〉・コミュニティ・スクールについて
- 〈新潟県長岡市〉・ユニバーサルデザイン教育について
・「熱中！感動！夢づくり教育」について
- 〈新潟県新潟市〉・地域包括ケアシステムについて
・地域子育て支援センター（野外型）について
- 〈群馬県高崎市〉・総合保健センターについて

経済建設委員会

実施日：平成27年10月14日～16日

○視察場所・視察項目

- 〈埼玉県川越市〉・川越市中小企業振興基本条例について
・「川越ものづくりブランドKOEDO E-PRO」
について
- ・伝統的建造物を活かしたまちづくりについて
- 〈長野県小布施町〉・小布施町のまちづくりについて
- 〈富山県富山市〉・富山とれたてネットワーク事業（地場もん
屋）について



環境水道委員会

実施日：平成27年10月7日～9日

○視察場所・視察項目

- 〈静岡県浜松市〉・浜松市の新エネルギー政策について
- 〈愛知県豊田市〉・低炭素社会システム実証プロジェクトにつ
いて
- ・とよたエコフルタウンについて
- 〈愛知県豊橋市〉・豊橋市バイオマス資源利活用施設整備・運
営事業について

甲府市議会だより編集委員会

《委員長》 池谷陸雄 《副委員長》 兵道顕司
《委員》 末木咲子 天野 一 長沢達也 木内直子 山田 厚

甲府市議会ホームページ・Eメール
URL <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/shise/gikai/index.html>
Email gikai@city.kofu.yamanashi.jp



〈モバイル〉



〈フェイスブック〉

